

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	シルビアン スポレクセンター真地		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 1日		～ 令和7年 3月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 1日		～ 令和6年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	十分な活動スペースが確保できている。	屋内、屋外十分な活動スペースが確保できている。室内は個室が充実しており、活用できている。	職員同士で話し合いを繰り返し、どのようにしたら今以上に子ども達が安心して活動していけるのかを模索していく。
2	家族支援	保護者の方からの相談を受け、事業所のできる範囲でサポートを行い必要時には助言を行う。支援で気になる事があれば電話等による聞き取りや相談を受けている。	本人や保護者の方々の意見を聞き、改善していけるよう職員一同で話し合い模索していく。
3	毎日ミーティングを行い、職員間で情報共有・支援の見直しなどを行っている。	毎日職員同士でミーティングを行うことで、情報共有することができ職員同士の意識が高められる。	今後も継続して日々ミーティングを行い、児童の支援に活かすことが出来るよう努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練などの備えや保護者への周知や理解	訓練を年に2回行っているが細かい内容を保護者へ周知できていない。広報などに載せているが直接しっかりした説明が行えていない。非常時の備えが整っていない。	わかりやすく書面にまとめ「非常事態の時はどこに避難しているのか」などの情報を記載し保護者への説明と配布を行う。事業所入口にも張り出すなどの工夫を行う。
2	他事業所との交流	交流は行うが年に1～2回程度。感染症の流行時から実行することにマイナス面が目立ってしまった。	感染症予防に配慮し、お互いに楽しく交流できる計画を行い実行していく。
3	地域交流	児童館などで交流をしていたが、感染症の流行時期から実行できていない。現在も学級閉鎖になったりと流行している中での地域交流はリスクが大きかった。	感染症が起りにくい時期などを狙い、室内ではなく、屋外での交流など工夫をして感染しにくい環境で設定し手洗いなどの予防対策を取り入れ計画していく。